



**R** RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY

**DMUCH**  
Institute of Disaster Mitigation  
for Urban Cultural Heritage  
Ritsumeikan University

# 立命館大学 歴史都市防災研究所

Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University





# 世界中の文化遺産の多くが 災害の危機にさらされています

皆さんの心のよりどころとなっている文化も例外ではありません



火災で正殿などが消失した首里城（上）と火災前の様子（下）（2019年、2012年、沖縄）  
写真提供：共同通信社



洪水で浸水した寺院（2011年、タイ・アユタヤ）  
Tourism Authority of Thailand 提供



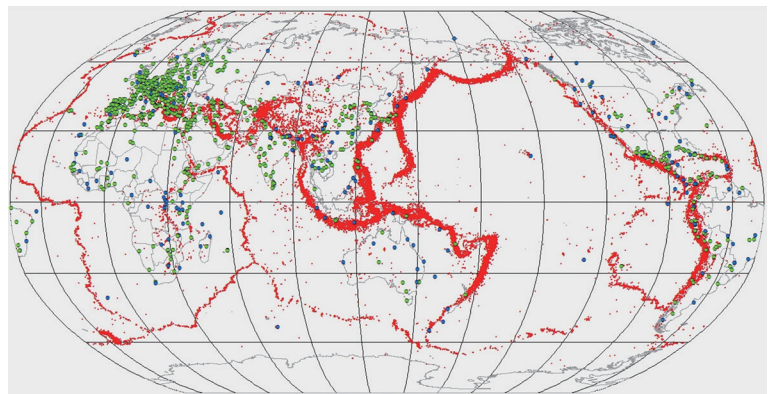
震災で倒壊した寺院の屋根（2016年、熊本・益城町）

地震災害について見れば、環太平洋やヒマラヤの造山帯など、地震の多発地帯に重なるようにたくさん  
の世界遺産が分布しています。

文化遺産とそれを取り巻く歴史都市を災害から守るための活動は、世界的に見ても重要な課題となっています。

## 出典

益田兼房ほか（2009）  
「地震帯における世界文化遺産の危機に関する国際的認識の重要性」  
歴史都市防災論文集 Vol.3、pp.203-210.



World Heritage Sites Located in the Earthquake Zones 2008

by Research Center for Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University, Kyoto Japan  
(●: Earthquake, ●: Cultural and Mixed Heritage, ●: Natural Heritage)

世界遺産地震帯分布図2008（立命館大学 歴史都市防災研究センター）  
(●: 地震、●: 文化遺産及び複合遺産、●: 自然遺産)

世界遺産と地震帯の分布図（2008）（●：地震、●：文化遺産及び複合遺産、●：自然遺産）

歴史都市における地域に根ざした文化遺産は、長い年月をかけて醸成されてきた人々の文化的活動の結晶であり貴重な社会的共通資本です。このかけがえのない文化的価値を損なうことなく、災害の脅威から守り、次世代へ継承することは、現代を生きる私たちの責務です。

## 歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点

### 災害と防災

土木工学 建築学  
地震工学 都市計画学  
災害科学

### 文化遺産の保存

歴史学 保存修復学 政策科学  
文化財保存学 地理学  
文化情報学

文化遺産・歴史都市の保全活用と  
災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域の創発

## 研究所の目指すもの

歴史都市の有形無形の文化遺産には、自然環境や災害と真摯に向き合い共存するための先人の豊かな知恵や技術、経験が内包されています。歴史都市防災研究所では、こうした先人の知恵を抽出し、コミュニティ全体に根付かせ、未来に受け継がれる減災文化の実現を目指しています。そのために、人文社会と理工学の学問分野の枠を超えて歴史的・文化的・技術的価値の多面的な評価に基づいて、文化遺産防災、あるいは歴史都市防災に関わる研究課題に取り組んでいます。さらに、アーカイブ等の情報技術を駆使する立命館大学アート・リサーチセンターとも共同しつつ、国内外の人材と研究プロジェクトが集うプラットフォームを構築しています。

歴史都市防災研究所は設置から20年を迎え、地域社会や地方自治体をはじめとする産官学、NPO / NGO、そして国際機関との連携を充実させるとともに、「文化遺産防災学」の発展、文化的価値を継承する地域知と伝統知の蓄積、実践的な防災技術の獲得、即戦力となる実務家と将来の研究発展を担う若手研究者の輩出に取り組んでまいります。そして、当該分野の国際的な中心拠点として、充実した教育研究環境を確立し、社会貢献に努めていく所存です。皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

歴史都市防災研究所 所長 吉富 信太



# 特色ある調査研究

## 災害と地域社会の歴史に学ぶ

文化財や建築物の価値を調査するとともに、過去の災害とその社会的対応に関する史資料の収集、聞き取りに基づいた地域の「記憶の地図」の作成、歴史的災害を多面的に理解する時空間的 GIS の開発など、歴史文化都市の災害史をひも解き、将来の減災に向けて継承すべき地域の知を明らかにします。

## 歴史的まちなみを守る技術を開発する

歴史文化都市において、伝統的な知恵と地域の歴史・文化を生かした耐震補強・改修技術や防耐火システム・機器の開発、地域の地盤環境を踏まえた防災対策の開発のもと、「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた防災技術の確立を目指しています。

## 文化遺産への人災・獣害を防ぐ

仏像・美術品の盗難、歴史的建造物への放火、アライグマによる社寺への侵入被害など、文化遺産への人為的災害と獣害の発生する状況を体系的に調査し、有効な対策や文化遺産を見守る先進的な防御システムを開発します。

## 歴史文化都市の防災をデザインする

歴史を受け継ぐ地域に合った防災計画とこれを推進する政策を提案します。地域特性の分析と最新の減災技術を生かしつつフィールドでの実践を通して、地域環境・地域社会の未来のデザインに貢献します。

## 国際的な研修事業を通して社会貢献を行う

世界唯一の「ユネスコ・チェア『文化遺産と危機管理』」として認証された国際研修事業と国際的な研究者と専門家のネットワークを通して、文化遺産に関する危機管理能力を醸成する教育プログラムの開発研究や、海外をフィールドとする文化遺産の災害調査研究を進めています。



加悦重伝建地区の消火器ボックス開発（3D設計図）



## 主な行政機関による受託研究／補助事業等の実績

- ◆ 地歌舞伎小屋明治座の改修技術の開発（中津川市）
- ◆ 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区 防災計画策定調査分析業務（豊岡市）
- ◆ 宮津市文化財保存活用地域計画策定に係る意識調査（宮津市）
- ◆ 伝統的建造物群保存地区の減災および防災力向上のための、住民による文化財保護と防災活動の取組み支援（与謝野町）
- ◆ 国宝松本城避難誘導計画立案に係る調査研究業務委託（松本市）

## 主な研究発信・教育活動

### 論文集やシンポジウム

歴史都市防災論文集や京都歴史災害研究（論文集）の発行、歴史都市防災シンポジウム主催による研究成果の発信を行なっています。

### 研究・教育用書籍の刊行

研究成果や大学院等での講義内容を集約した『文化遺産防災学「ことはじめ」篇』や『テキスト 文化遺産防災学』、『2015年ネパール震災の記憶』などの書籍を刊行しています。

### 「文化遺産防災学」教育プログラム

市民や他大学を含む大学院生、実務家である社会人に対して、履修証明制度を利用した分野横断型の教育プログラムとして実施し、「文化遺産防災学」に触れる機会を提供することで裾野の拡充と発展に貢献しています。



論文集やシンポジウム



研究・教育用書籍の刊行



「文化遺産防災学」教育プログラム

## 主な民間企業等における受託業務・受託／委託研究・企業連携の実績

- ◆ 歴史的まちづくりにおける地理空間情報活用と流通のための GIS 方法論の研究
- ◆ 土砂災害に対する文化財保全プロジェクト
- ◆ 伝統木造建物に適用する制振装置開発に関する研究
- ◆ 文化遺産を対象とした人為災害発生後の各種対応に関する現地調査
- ◆ 地域防災情報ネットワークの事業化に向けた内容検討と構成機器の評価等及び自治体・住民との協議支援

## これまでの主な組織体への加盟ならびに国内外機関との協定

### 〈主な加入組織〉

- ◆ 全国児童生徒地図作品展連絡協議会
- ◆ 世界防災研究所連合

### 〈主な国内機関との協定〉

- ◆ 東北大学災害科学国際研究所
- ◆ 社会福祉協議会、自治会

### 〈主な国際機関・地域機関との協定〉

- ◆ 文化財保存修復研究国際センター（ICCROM）
- ◆ 東南アジア教育省連合 地域考古学・芸術センター（SEAMEO-SPAPA）

### 〈海外の大学・機関との協定〉

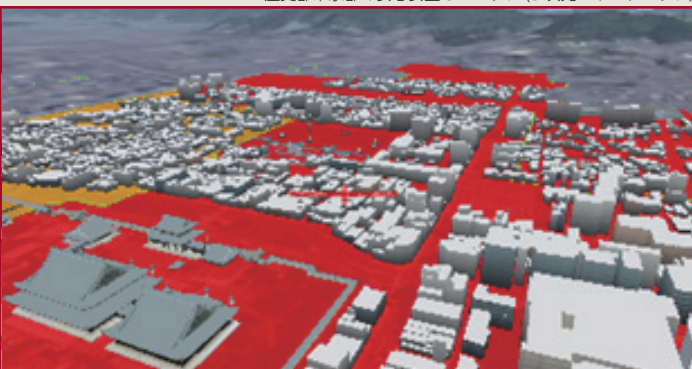
- ◆ 東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカの各国の大学、研究所、政府機関など

# 実績と特徴的な活動

ネパール世界遺産パタン地区での防災ワークショップ（2015年ゴルカ地震前）



歴史都市京都の安心安全 3D マップ（3次元ハザードマップ）



豊岡市出石伝統的建造物群保存地区





## みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト

小学生が自宅周辺や学校周辺などの身近な地域を調査し、それを地図化することで、地域の安全安心について考え、保護者や小学校と情報を共有することを目的に、毎年実施しています。優秀作品の中から、全国児童生徒地図作品展連絡協議会主催「全国児童生徒地図優秀作品展」（事務局：国土交通省国土地理院）にて国土交通大臣賞や審査員特別賞に選出されるなど、社会的にも高い評価を受けています。

## 地域社会との連携

地域コミュニティによる自主防災組織や、「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」などの団体と連携し、実践的な地域貢献を進めています。

## 国際社会への支援

### 立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修

本国際研修は、政府や研究機関などの文化遺産保護と防災の専門家と実践家を招へいし、短期間の実際的な研修を行い、各国それぞれの課題と相互の分野を認識しつつ、文化遺産および歴史都市の価値を踏まえた防災計画を作成する手法を習得することを目的としています。

### 途上国を中心とする文化遺産防災教育への支援

インドネシア政府研修として、現地の行政官を招へいし、京都・大阪・滋賀での都市・地域計画における教訓や好事例について、講義、議論、現地調査を交えて研修を行っています。



みんなで作る  
地域の安全安心  
マップコンテスト



地域社会との  
連携



国際社会への  
支援



みんなで作る地域の安全安心マップコンテストの防災出張授業



衣笠学区社会福祉協議会との防災調査研究協定署名式



立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修の様子



立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修のトレーニングガイド



立命館大学インドネシア政府防災研修の様子

## 沿革

- 2003年 4月 文部科学省21世紀COEプログラム採択（2007年度まで）
- 2003年 8月 歴史都市防災研究センター設置
- 2004年 4月 格致小学校に拠点設置
- 2005年 1月 国連防災世界会議（神戸）  
テーマ別および公開フォーラムの事務局を担当
- 2005年 4月 学術フロンティア事業採択（2009年度まで）
- 2006年 3月 歴史都市防災研究センター竣工
- 2006年 6月 歴史都市防災シンポジウム開始（年次事業）
- 2006年10月 ユネスコが立命館大学ユネスコ・チェアを認定  
立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」  
国際研修開始（毎年）
- 2007年 9月 地域の安全安心マップコンテスト開始（年次事業）
- 2008年 4月 グローバルCOEプログラム採択（2012年度まで）
- 2009年 5月 文化遺産防災アイデアコンペティション開始（2012年  
度まで）

- 2013年 4月 歴史都市防災研究所に改組
- 2014年 4月 トヨタ財団による国際研修事業の支援開始（2016年度  
まで）
- 2015年 3月 国連防災世界会議（仙台）  
パブリックフォーラムを主催
- 2017年 4月 独立行政法人国立文化財機構による  
国際研修事業の支援開始（2018年度まで）
- 2019年 3月 2019年度政府開発援助ユネスコ活動費補助金  
（持続可能な開発目標〔SDGs〕達成に貢献するユネス  
コ活動の普及・発展のための交流・協力事業）採択
- 2023年 7月 20周年記念講演会開催

## 組織

- 所長 吉富 信太（理工学部 教授）
- 副所長 村中 亮夫（文学部 教授）



- 表紙写真注釈
- 左上 昭和13年阪神大水害による被害の様子
  - 右上 首里城火災（2019年、沖縄）写真提供：EPA＝時事
  - 中央左 熊本地震による被害を受けた熊本城の石垣（2016年、熊本）
  - 中央右 醍醐寺での放水訓練
  - 左下 立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修の様子
  - 右下 フランス・ノートルダム寺院火災（2019年、パリ）写真提供：AP/アフロ

# 立命館大学 歴史都市防災研究所

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地  
TEL: 075-467-8801 FAX: 075-467-8825



<http://r-dmuchi.jp/>



[ritsumeikan\\_dmuchi](https://www.instagram.com/ritsumeikan_dmuchi)